

# 平成 2 8 年度 長崎県学力調査(国語、算数・数学)

## 結果の概要<速報版>

### 調査の概要

#### 1 調査目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、各学校における児童生徒への教育指導の充実・改善に役立てる。

#### 2 調査期日 平成 2 8 年 4 月 1 9 日 ( 火 )

#### 3 調査実施校数及び児童・生徒数

##### ( 1 ) 実施校数

5 0 6 校 / 調査対象者の在籍する学校の総数 5 0 6 校  
( 小学校 : 3 2 8 校、中学校 : 1 7 8 校 )

##### ( 2 ) 実施児童・生徒数

小学校 5 年生 1 1 , 5 1 1 人  
中学校 2 年生 1 1 , 4 4 2 人

#### 4 調査内容

小学校 ... 国語 ( 4 0 分 ) 算数 ( 4 0 分 )  
中学校 ... 国語 ( 4 5 分 ) 数学 ( 4 5 分 )

### 結果の概要

#### 1 出題の考え方

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を問う問題 ( 算数・数学においては、知識・技能を A 問題、思考力・判断力・表現力等を B 問題として出題 )

昨年度までの課題を検証するための問題

学習指導要領の内容の定着を把握するための問題

#### 2 県全体の平均正答率 ( % )

小学校		中学校	
国語	算数	国語	数学
5 0 . 7	5 7 . 1	6 3 . 8	5 1 . 8

### 3 結果の総括

各教科において、昨年度の重点課題について改善がみられた。

中学校においては、全体の無答率が下がり、問題を解決しようとする姿勢が見られる。

継続課題である「根拠（理由）を明確にして自分の考えを書く」問題において、国語については、改善の傾向がみられるが、算数・数学においては、引き続き課題となっている。

P. 7～10の「6 平成27年度長崎県の重点課題の改善状況」を参照

### 4 各教科の状況 ( )内は問題の番号

: 重点課題で改善が見られる問題

: 改善が見られる問題

: 継続して課題となる問題

: 新しく課題となる問題

#### < 小学校国語 > P. 3 参照

文の中から主語を選ぶ問題 ( 2 一 )

相手に内容が伝わるように文章を要約して書く問題 ( 2 四 )

誤って常体で書かれた表現を敬体で書き直す問題 ( 3 三 )

ローマ字を書く問題 人名 ( べっぷ ) ( 1 四 )

慣用句の意味を選ぶ問題 ( 2 三 )

漢字を正しい筆順で書く問題 ( 1 五 )

場面の移り変わりとともに、登場人物の状況を把握し書く問題

( 2 五 )

#### < 小学校算数 > P. 4 参照

四則の混じった計算 ( A 1 ( 1 ) )

長さを分数に表す問題 ( A 2 ( 3 ) イ )

もとにする量を求める問題 ( A 4 )

平行な二つの直線の性質を問う問題 ( A 5 ( 1 ) )

2つの量の変わり方を式に表す問題 ( A 7 ( 2 ) )

例示を基に、新たな問題の解決方法を書く問題 ( B 1 ( 1 ) )

#### < 中学校国語 > P. 5 参照

根拠を明確にして自分の考えを書く問題 ( 3 四 )

比喩の表現の技法について理解する問題 ( 2 二 )

四字熟語を正しく書く問題 ( 2 四 )

段落の内容を捉える問題 ( 2 五 ( 1 ) )

接続語を使って1文を2文に分けて書く問題 ( 3 一 )

#### < 中学校数学 > P. 6 参照

一次式の加法・減法の計算 ( A 2 ( 1 ) )

一次方程式を解く問題 ( A 3 ( 2 ) )

平行移動させた図形をかく問題 ( A 4 ( 2 ) )

円柱の表面積を求める問題 ( A 5 ( 2 ) )

ヒストグラムから相対度数を求める問題 ( A 7 ( 1 ) )

度数分布表から最頻値を求める問題 ( A 7 ( 2 ) )

## 5 各教科の設問別正答率

< 小学校国語 >

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一	発言内容に対する質問として適切なものを記述する	発言内容に沿った質問ができる 49.4 41.0 9.6
	二	司会の発言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの具体的な場面に即した司会の進め方の良さを捉えることができる 57.0 37.8 5.2
	三	自分の立場を明らかにして、その根拠を説明しながら発表するように記述する	話し合いの目的や進行に沿って自分の考えを発言することができる 40.4 44.6 15.0
	四	ローマ字を書く 人名(べっぶ)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で正しく書くことができる 23.8 50.7 25.5
	五	漢字を正しい筆順で書く (四画目を書く)「別」	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書くことができる 36.8 57.7 5.5
2	一	文の中から主語を選ぶ	文の中における主語を選択することができる 73.1 22.0 4.9
	二	漢字を書く (みどり)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる 49.6 44.9 5.5
	三	慣用句の意味を選ぶ	長く使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を理解している 70.3 21.0 8.7
	四	物語の登場人物の状況の変化について書く	読み取った内容を、目的に応じ、相手に伝わるように自分の言葉で要約して書くことができる 31.1 62.8 6.1
	五	物語の登場人物の状況の変化について書く	場面の移り変わりとともに、登場人物の状況を把握することができる 64.4 27.2 8.4
3	一	新聞の内容にふさわしい大見出しをつける	文章全体を通して中心となる内容を明確に記述することができる 25.3 53.5 21.2
	二	一つの文を意味を変えずに、二つの文に書き直す	一文の意味を理解し、二つの文に分けて書き直すことができる 55.8 37.8 6.4
	三	誤って常体で書かれた表現を敬体で書き直す	文章の間違いに気付き、正しく書き直すことができる 56.1 31.7 12.2
	四	学級新聞に載せるグラフとして適切なものを選ぶ	事実や事例など、必要な事柄を整理することができるかどうかをみる 62.3 20.5 17.1
	五	学級新聞の記事を書く	目的に応じて事例を挙げながら事実を伝える文章を書くことができる 73.2 11.9 14.8
			43.3 32.7 24.0

< 小学校算数 >

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)		
A	1	(1) $18 - 6 \div 3$ を計算する	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる	80.1 19.3 0.5	
		(2) $4.29 - 0.6$ を計算する	繰り下がりがある小数の減法の計算をすることができる	73.2 26.4 0.5	
		(3) $45 \times 36$ を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	80.5 19.1 0.4	
		(4) $10.8 \div 36$ を計算する	小数の除法の計算をすることができる	67.0 30.5 2.5	
		(5) $2\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ を計算する	同分母分数の加法の計算をすることができる	78.2 21.3 0.5	
	2	(1)	2.45は、0.01を何個集めた数かを書く	小数の意味と表し方について理解している	94.7 4.9 0.4
		(2)	32.194を小数第一位までの概数で表すために、四捨五入する数を選ぶ	四捨五入について理解している	54.9 39.9 5.3
		(3)	ア 1mを3等分したテープの2つ分を分数で表す	分数の意味について理解している	87.3 11.7
			イ 2mを6等分したテープの5つ分を分数で表す	1より大きい分数を表すことができる	60.9 37.9 1.2
	3	$2.5 \times 3 + 1.5 \times 3$ を( )を使った式と答えを書く	計算のきまりを活用し、乗法と加法の混じった計算をすることができる	20.9 76.3 2.8	
	4	白いリボンの長さを求める式を書く	場面と図を関連付けた二つの数量関係を理解している	72.5 22.0 5.5	
	5	(1)	直線㉑と㉒が平行な関係であることが分かる根拠となる性質を選ぶ	平行の性質について理解している	20.5 77.4 2.1
		(2)	作図に用いられているひし形の特徴を選ぶ	ひし形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質について理解している	50.7 46.8 2.5
		(3)	直方体の展開図から辺アイと重なる辺を選ぶ	辺や面のつながり、それらの位置関係について理解している	64.3 33.3 2.4
			直方体の展開図から面㉑と垂直になる面をすべて選ぶ		63.1 34.0 2.9
	6	(1)	$5704\text{m}$ を km mと表す	長さの単位を知り、他の長さの単位との関係を理解している	81.7 15.9 2.4
		(2)	あ 角㉑の大きさを書く	分度器の目盛りを読み、角の大きさを測定することができる	89.8 8.5
			い 角㉒の大きさを書く	直角と円の角度を利用し、角の大きさを求めることができる	67.8 29.5 2.7
		(3)	示された図から面積を求める	長方形の面積の求め方について理解している	52.3 41.3 6.4
		(4)	面積が、 $4\text{cm}^2$ の図をすべて選ぶ	面積の概念について理解している	56.7 37.8 5.5
7	(1)	縦と横のレンガの数について表の空欄に数字を書く	伴って変わる二つの量について表にまとめることができる	61.7 30.8 7.5	
	(2)	縦と横のレンガの数の関係を と を使って式に表す	数量を , などをを用いて式に表すことができる	27.3 58.7 14.0	
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)		
B	1	(1)	L字型の図形の面積の求め方について、なおさんの説明の空欄に適切な数値を書く	示された面積の求め方の説明について、適切な数値を入れることができる	24.6 73.9 1.5
		(2)	示されたL字型の図形の面積の求め方を基に、階段型の図形の面積の求め方を説明する	倍積変形の考え方を活用して、階段型の図形の面積の求め方を説明することができる	17.3 74.8 7.9
	2	(1)	ソフトボールの学年ごとの記録を表す折れ線グラフと棒グラフの関係から、その違いを言葉や数を使って書く	示されたソフトボールの記録の変化を表す折れ線グラフと記録ののびを表した棒グラフを見て、グラフの特徴を基にそれらに対応していないことを読み取り、その違いを言葉や数を用いて記述することができる	19.1 52.0 29.0
		(2)	折れ線グラフと棒グラフから、誰のグラフかを選ぶ	示されたソフトボールの記録の変化を表す折れ線グラフと記録ののびを表した棒グラフを基に、折れ線グラフは、誰の記録を表したものをかを判断することができる	17.6 56.0 26.4

< 中学校国語 >

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一 司会の役割について、適切なものを選択する	話し合いにおける司会の適切な役割を考える	81.0 18.5 0.6
			46.6 52.8 0.6
	二 相手の発言を踏まえて適切なものを選択する	相手の発言を注意して聞いたうえで話す内容を考える	82.1 17.5 0.4
	三 前後の文節が正しくつながるように語句を選択する	前後の文節が正しくつながるように語句を考える	93.0 6.5 0.5
	四 同じ意味となるように熟語を用いて書き換える	同じ意味の熟語を考える	48.7 43.1 8.2
五 話し合いの内容を基に、立場を明確にして自分の意見をまとめる	話し合いの流れを踏まえたうえで、根拠を明確にして自分の考えを述べる	53.1 45.0 1.9	
2	一 漢字を書く(ハラが立つ)	文脈に即して漢字を正しく書く	87.4 6.6 8.0
	一 漢字を書く(ハイケイ)	文脈に即して漢字を正しく書く	74.7 15.2 10.1
	一 漢字を読む(異なった)	文脈に即して漢字を正しく読む	96.1 1.9 1.8
	二 「いわしの缶詰のごとくにつぶされ」の表現の工夫を選択する	比喩の表現の技法について理解する	47.6 51.3 1.1
	三 「言わざるを得ない」を書き換える	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	53.7 39.4 6.9
	四 四字熟語を完成させる	四字熟語を正しく書く	40.8 40.6 18.6
	五(1) 「例えば」から始まる具体例の中で内容が違ふ段落を選択する	段落の内容をとらえる	27.5 68.1 4.4
	五(2) 「日本人の特質」を述べている段落を選択する	段落の内容をとらえる	52.7 42.7 4.6
	六(1) 文章構成の工夫として、当てはまる言葉を選択する	筆者の文章構成の意図をとらえる	78.6 19.9 1.5
六(2) 筆者の主張として当てはまる言葉を文中から16字で抜き出す	筆者の主張(説明文の結論)をとらえる	60.0 23.0 17.0	
3	一 接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	43.9 48.0 8.1
	二 リーフレットの内容にあった図表を選択する	内容に応じて適切な図表を選ぶ	81.2 15.1 3.7
	三 文末表現を正しい表現に直す	リーフレットの文章が敬体であることを踏まえ、文体を統一する	57.2 25.1 17.7
	四 図表を用いて、リーフレットの結末を条件に従って書く	文章構成に留意し、根拠を明確にしてまとめの文章を書く	49.8 36.8 13.4
	五 リーフレットの内容にあった見出しを選択する	内容に応じた適切な言葉を選ぶ	84.2 13.3 2.5

< 中学校数学 >

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)		
A	1	(1) $12 + 3 \times (-5)$ を計算する	四則の混合した整数の計算をすることができる	86.2 13.0 0.8	
		(2) 四則計算のうち、自然数の範囲で閉じている計算を選ぶ	数の範囲を限定することで、四則計算が可能かどうかを理解している	61.0 37.4 1.6	
	2	(1) $2(3x + 2) - 3(x + 1)$ を計算する	一次式の加法と減法の計算ができる	65.3 31.7 2.9	
		(2) 円周の長さを表している式を選ぶ	数量を文字式で表すことができる	61.0 38.3 0.6	
	3	(1) $3x - 2 = x + 2$ の解について正しい記述を選ぶ	一次方程式の解の意味を理解している	54.6 43.7 1.7	
		(2) 方程式 $4x - 3 = 6x + 5$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	76.7 19.6 3.7	
	4	(1) 角の二等分線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	角の二等分線の作図方法を図形の対称性に着目して見直すことができる	67.6 31.4 1.0	
		(2) 三角形を、矢印の方向に 5 cm 平行移動した図形をかく	平行移動させた図形をかくことができる	79.3 19.3 1.4	
	5	(1) 三角柱の 1 つの面と垂直な面を求める	空間における平面の位置関係を理解している	53.6 43.1 3.3	
		(2)	円柱の側面となる長方形の横の長さを求める	円柱の面のつながりについて理解している	53.5 40.1 6.5
			円柱の表面積を求める	円柱の表面積を求めることができる	40.9 49.2 9.9
	6	(1) 関数関係にない事象を選ぶ	関数関係の意味を理解している	53.6 44.6 1.8	
		(2) 比例の表から式を求める	比例の表から、 $x$ と $y$ の関係を $y = ax$ の式で表すことができる	59.7 34.2 6.1	
		(3) 反比例の性質を表した記述を選ぶ	反比例の意味を理解している	49.9 46.9 3.1	
(4) 反比例のグラフから式を求める		反比例のグラフから、 $x$ と $y$ の関係を $y = a/x$ の式で表すことができる	60.2 31.0 8.8		
7	(1) 反復横とびの記録を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	ヒストグラムから相対度数を求めることができる	42.3 43.5 14.3		
	(2) 通学時間の記録の最頻値を求める	最頻値の意味を理解している	35.6 48.9 15.4		
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)		
B	1	(1) 画用紙を重ねてはるときに、必要な画びょうの個数を求める方法を完成させる	画びょうの個数を求める方法を解釈し、数学的な表現を用いて、その説明を完成させることができる	14.2 83.9 1.9	
		(2) 丸い画用紙をはる場合、必要な画びょうの個数を求める	新たな条件の下で、解決方法を振り返り、用いることができる	29.7 58.4 11.9	
	2	(1) 2人がランニングするようすを表したグラフの特徴を説明する	グラフを事象に対応させて解釈することができる	43.6 42.0 14.4	
		(2) 一方がゴールしたとき、もう一方が走った距離を求める	事象を数学的に解釈し、問題を解決することができる	12.5 79.9 7.6	
	3	(1) 2つの中学校の50m走の記録の特徴について、与えられた資料では比較できないことを、度数の総計を根拠に説明する	資料の特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	54.2 27.0 18.8	
		(2) 相対度数を基に、2つの中学校の50m走の記録の傾向について説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	37.3 39.3 23.4	

## 6 平成27年度長崎県の重点課題の改善状況【小学校国語】

	領域等	H27				H28				差		
		県・全国	問題番号	設問の概要	該当学年 平均正答率(%)	県・全国	問題番号	設問の概要	該当学年 平均正答率(%)			
1	主語・述語	県	2 二	文の中から主語・述語を選ぶ	1 ・ 2	62.7	県	2 一	文の中から主語を選ぶ	1 ・ 2	73.1	10.4
		全国	A2	文の中から主語・述語を選ぶ	1 ・ 2	49.3		2 一	文の中から主語を選ぶ	1 ・ 2	49.6	0.3
2	ローマ字	県	1 五	ローマ字を書く 人名(にった)	3	24.4	県	1 四	ローマ字を書く 人名(べっふ)	3	23.8	-0.6
3	敬体・常体	県	3 五	誤って敬体で書かれた表現 を常体に書き直す(推敲)	3 ・ 4	35.6	県	3 三	誤って常体で書かれた表現 を敬体に書き直す(推敲)	3 ・ 4	62.3	26.7
4	条件作文	全国	A5	コラムの中で筆者が引用し ている言葉を書き抜く	5 ・ 6	20.2	県	2 四	読み取った内容を、目的に 応じ、相手に伝わるように 自分の言葉で要約して書く	3 ・ 4	64.4	44.2
		県	1 三	自分の立場を明らかにし て、その根拠を説明しなが ら発表するように記述する (40～60字)	3 ・ 4	30.6	県	1 三	自分の立場を明らかにし て、その根拠を説明しなが ら発表するように記述する (40～60字)	3 ・ 4	40.4	9.8
		全国	B1	【中田とよさんへのインタ ビューの様子】の内容をま とめて書く	5 ・ 6	33.7	県	3 五	学級新聞の記事を書く	3 ・ 4	43.3	9.6

平成27年度長崎県の重点課題の改善状況【小学校算数】

	出題の趣旨	H 2 7					H 2 8					差		
		県・全国	問題番号		設問の概要	該当学年	平均正答率 (%)	県・全国	問題番号		設問の概要		該当学年	平均正答率 (%)
			大問	小問					大問	小問				
8	式の意味理解 ・基準量を求める除法 ・単位量当たりの大きさ	全国	B 2	( 2 )	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	5	11.1	県	4	/	白いリボンの長さを求める式を書く	4	72.5	61.4
								全国	9	( 2 )	1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している	5	/	/
		全国	B 2	( 1 )	トマトを7個買うとき、もっとも安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	5	63.7	全国	4	/	8㎡に14人座っているシートについて、1㎡当たりの人数を求める式を書く	5	/	/
2	小数の減法	全国	A 2	( 2 )	6.79 - 0.8を計算する	4	69.4	県	1	( 2 )	4.29-0.6を計算する	4	73.2	3.8
								全国	2	( 2 )	4.65 + 0.3を計算する	4	/	/
3	四則混合の計算	県	A 1	( 4 )	80 + 20 ÷ 5を計算する	4	69.0	県	1	( 1 )	18 - 6 ÷ 3を計算する	4	80.1	11.1
4	量の単位の理解	県	A 6	( 1 )	3 km 6 0 mをmで表す	3	53.9	県	6	( 1 )	5704mを km mと表す	3	81.7	27.8
5	分数の意味と大小	県	A 3	( 2 )	2 mを8等分したテープの5つ分を分数で表す	4	43.5	県	2	( 3 ) イ	2 mを6等分したテープの5つ分を分数で表す	4	60.9	17.4

平成27年度長崎県の重点課題の改善状況【中学校国語】

領域等	H27						H28						差
	県・全国	問題番号		設問の概要	該当学年	平均正答率	県・全国	問題番号	設問の概要	該当学年	平均正答率		
		大問	小問										
1 条件作文	全国	B2	三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く(80~120字)	2	22.4	全国	B1三	チラシの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	2			
	県	3	四	書き換えた標語について、表現の工夫とその効果を具体的に書く(40~60字)	1	41.6	県	三四	図表を用いて、リーフレットの結末を条件に従って書く(50~60字)	1	49.8	8.2	
	県	2	六	筆者の観察調査に対する態度について、自己の考えを具体的に書く(80~100字)	1	30.8						19.0	
2 表現技法	県	3	二	倒置法という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する	1	40.2	県	二二	「いわしの缶詰のごとくにつぶされ」の表現の工夫を選択する(趣旨：比喩の表現の技法について理解する)	1	47.6	7.4	
3 文法	全国	A9	四	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	1	31.7	全国	A9五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する(出題趣旨：文の成分の照応について理解する)	2			

平成27年度長崎県の重点課題の改善状況【中学校数学】

	出題の趣旨	H27					H28					差		
		県・全国	問題番号		設問の概要	該当学年	平均正答率(%)	県・全国	問題番号		設問の概要		該当学年	平均正答率(%)
			大問	小問					大問	小問				
1	連立方程式を解く	全国	A 3	(4)	連立方程式 $\begin{cases} 4x + 2y = 5 \\ x + y = 2 \end{cases}$ を解く	2	54.4	(Comparison data for H28 is missing for this item)						
2	数量の関係を文字式に表す	全国	A 2	(2)	赤いテープがacmで、白いテープの長さの3/5倍のとき、白いテープの長さをaを用いた式で表す	1	19.1	県	A 2	(2)	円周の長さを表している式を選ぶ	1	61.0	41.9
								全国	A 2	(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	1		
3	数量の関係をとりえ、連立方程式をつくる	全国	A 3	(3)	連立方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	2	36.2	(Comparison data for H28 is missing for this item)						
4	証明の必要性と意味	全国	A 8		対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	2	24.5	全国	A 8		証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	2		
5	二元一次方程式の解を座標とする点の集合	全国	A 13		二元一次方程式 $x + y = 3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	2	38.2	(Comparison data for H28 is missing for this item)						

## 今後の取組

- 1 結果を踏まえた授業改善研修会の実施
  - ・ 本調査の結果や明らかになった課題の共有
  - ・ 全小・中学校を対象として、授業改善を目指した研修会の開催  
夏季休業中に担当教員（国語、算数・数学、理科）を対象に実施  
10～11月に管理職員を対象に実施
  - ・ 各種研修講座及び出前講座の開催
  
- 2 各学校における結果分析及び課題改善に資する参考資料の提供
  - ・ 各問題についての趣旨が一覧できる資料の提供
  - ・ 学力向上に関する情報を学力UP通信「明日のために」で発信
  - ・ 本県の児童生徒の重点課題を提示するとともに、改善の状況を把握するための検証問題を提供
  - ・ 効果を上げた学校の取組や指導の共通理解
  - ・ 課題改善に有効な「長崎県学力向上『活用教材』」の作成と発信
  
- 3 全県的な組織による学力向上の推進
  - ・ 市町教育委員会や大学等、関係機関との連携による委員会を組織
  - ・ 結果の分析とそれに基づく具体的改善策の検討・発信及び小・中学校における提案授業の実施
  - ・ 幅広い視点から中長期的な学力向上対策について協議

# 小学校国語

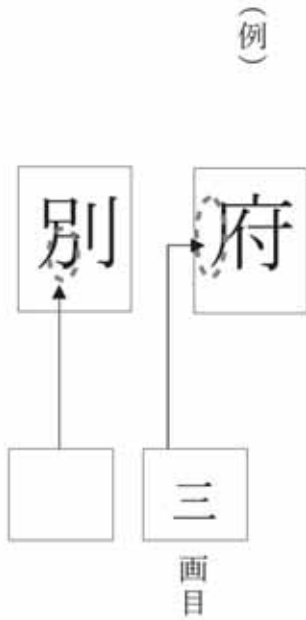
1

四 地いきには外国の人も多くいるので、名前をローマ字で書いたものをじゅんびすることになりました。名前の初めは大文字で、後は小文字で書きます。かつこの中に入る名前をローマ字で書きましょう。

(            ) Masato  
べっぶ            まさと  
別府    まさと

正答率 23.8%  
(H27 県 24.4%)

五 (例) のように「別」の ↓ で示している部分は何画目になるかを書きましょう。

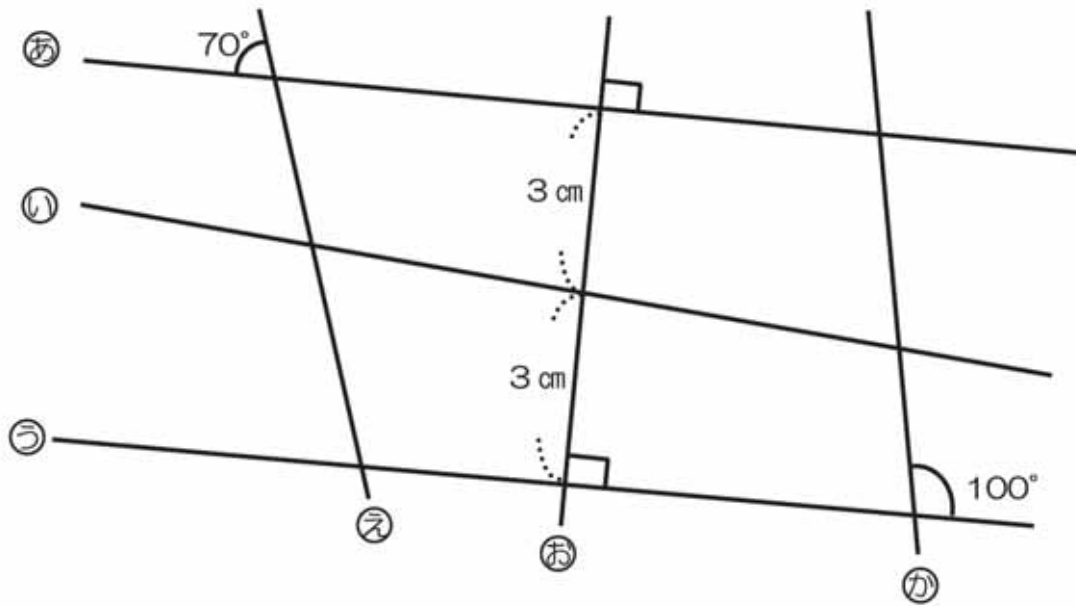


正答率 36.8%

# 小学校算数

5

(1) 下のように交わっている6本の直線㉠～㉣があります。



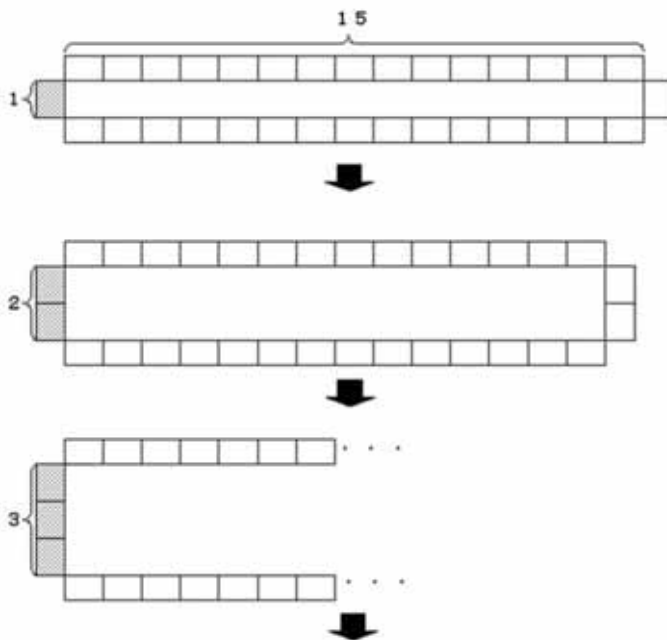
正答率 20.5%

直線㉠と㉢は平行の関係であることが分かります。

直線㉠と㉢が平行の関係であるという理由は、平行な直線のどのような特ちょうから分かりますか。

7

同じ大きさの32このレンガをすべて使って、次のような長方形の花だんをつくりす。



たてを1こにすると、横は15こになることがわかります。

たてを2こにすると、横は・・・



正答率 27.3%

(2) たてのレンガの数を△こ、横のレンガの数を□ことして、△と□の関係を式に表しましょう。

2

説明的文章（「沈黙の世界」加藤秀俊）を読んで、あとの問いに答えさせる大問です。

四 五段落の「 苦 苦」について、「非常に苦勞すること」、「たいへんな苦しみ」という意味になるようにそれぞれ漢数字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

四  
正答率 40.8%

出題の趣旨  
「四字熟語を正しく書く」

五 Aさんは、国語科の授業において、この文章の構成や内容について理解するために、次のような学習を行いました。  
(1)  3、 6、 8段落の「例えば」から始まる具体例が示す筆者の考えについて、他と異なるものを一つ探しました。  
それはどれですか。段落番号で答えなさい。

五(1)  
正答率 27.5%

出題の趣旨  
「段落の内容をとらえる」

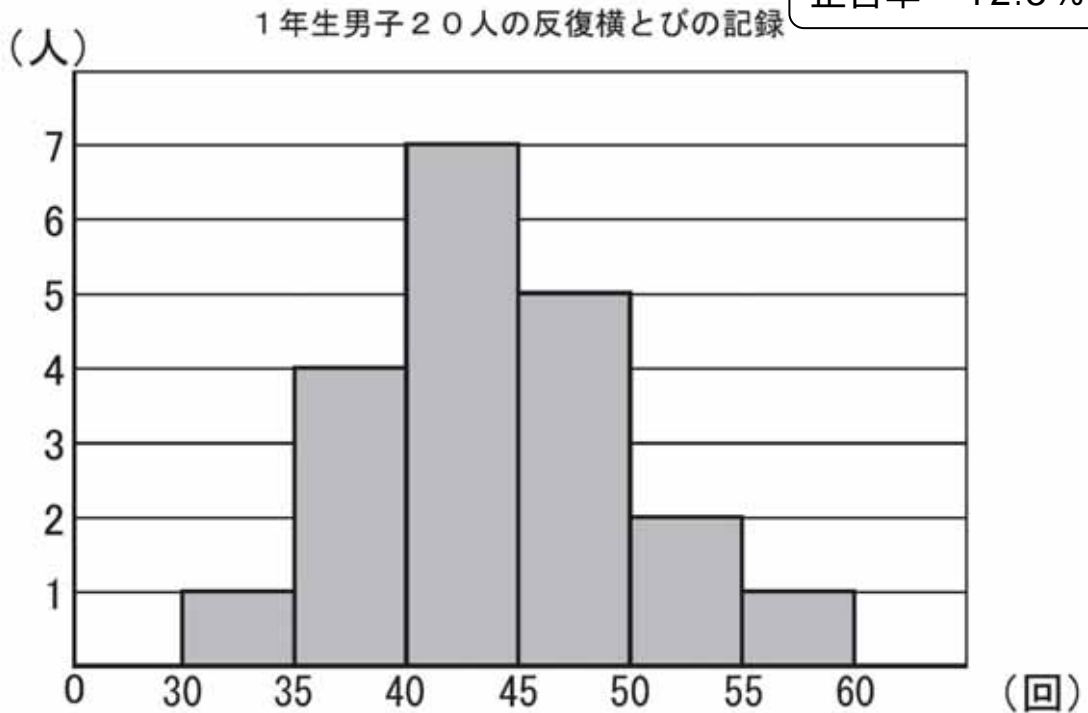
# 中学校数学

7

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 下の図は、ある中学校の1年生男子20人の反復横とびを20秒間行ったときの結果をヒストグラムにまとめたものです。このヒストグラムから、例えば、記録が35回以上40回未満の生徒は4名いたことがわかります。  
 度数が最も多い階級について、その相対度数を求めなさい。

正答率 42.3%



- (2) 下の表は、ある学級の生徒25人の通学時間を調べ、その結果を度数分布表に表したものです。

最頻値 (モード) を求めなさい。

正答率 35.6%

階級 (分)		度数 (人)
以上	未満	
0 ~	5	1
5 ~	10	2
10 ~	15	4
15 ~	20	6
20 ~	25	8
25 ~	30	3
30 ~	35	0
35 ~	40	1
合	計	25

## 資料2 市町別平均正答率

## &lt;小学校一覧&gt;

	国 語				算 数					
	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係	全体
県全体	48.9	58.1	44.9	47.4	50.7	74.3	55.8	49.6	42.7	57.1
長崎市	48.5	56.5	46.1	43.4	48.8	72.5	54.3	47.4	44.0	56.2
佐世保市	47.4	55.5	45.4	46.1	49.2	71.6	55.1	48.1	43.0	55.9
島原市	46.6	60.3	40.6	53.1	52.6	78.3	57.9	51.5	45.2	59.8
諫早市	44.1	56.3	42.3	47.5	48.9	74.6	56.3	51.3	40.7	57.0
大村市	47.3	56.9	44.6	46.6	49.7	74.1	54.1	49.2	39.5	55.6
平戸市	49.7	60.8	43.9	51.2	53.0	76.2	55.9	54.3	42.8	58.4
松浦市	51.3	64.0	44.4	51.9	54.6	77.9	57.9	54.2	46.3	60.4
対馬市	51.7	60.8	40.8	56.0	54.8	78.6	57.8	56.5	41.2	59.7
壱岐市	53.6	64.1	45.0	53.3	55.7	80.1	59.6	50.1	39.5	59.0
五島市	54.7	60.7	45.7	50.1	53.7	75.5	56.4	52.0	41.6	57.8
西海市	47.6	57.4	41.7	49.3	50.6	78.9	57.1	50.8	40.7	58.6
雲仙市	49.2	63.8	46.3	53.2	54.9	79.1	58.8	50.9	42.3	59.5
南島原市	49.0	61.5	38.6	50.2	52.1	76.1	56.4	53.4	40.9	57.9
長与町	60.2	68.0	52.0	51.9	58.5	77.8	58.3	51.7	48.7	60.6
時津町	51.2	61.8	48.1	50.4	53.8	76.8	56.9	50.5	45.5	58.9
東彼杵町	59.8	62.5	44.4	53.7	56.4	70.7	54.4	51.6	38.3	55.3
川棚町	54.1	58.0	48.5	50.0	53.1	76.6	59.1	48.7	42.2	58.5
波佐見町	48.7	53.8	43.4	50.5	50.3	73.3	54.2	45.6	35.6	54.1
小値賀町	60.6	78.2	63.6	66.7	68.8	78.8	59.7	45.5	42.9	58.4
佐々町	65.7	61.5	45.6	50.2	56.1	82.8	60.8	54.4	48.5	63.4
新上五島町	52.7	62.1	39.7	49.2	52.7	73.2	55.8	52.1	39.7	56.3

< 中学校一覧 >

	国 語				数 学					
	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	全体	数と式	図形	関数	資料の活用	全体
県全体	65.7	58.0	60.6	65.1	63.8	56.1	59.0	46.6	42.3	51.8
長崎市	65.0	58.2	61.6	64.0	63.6	56.7	58.6	48.9	43.8	52.8
佐世保市	64.5	55.1	58.6	62.4	61.6	52.0	54.3	42.9	37.3	47.6
島原市	61.6	52.3	56.6	61.8	60.1	54.0	59.7	43.1	36.8	49.4
諫早市	65.9	59.9	61.6	67.8	65.4	54.8	59.7	44.0	40.8	50.6
大村市	64.9	53.0	56.6	63.9	61.4	54.6	55.7	42.2	36.4	48.4
平戸市	61.6	56.9	59.0	63.2	61.6	50.8	52.4	38.4	31.0	44.5
松浦市	60.9	55.2	58.6	67.0	62.7	53.1	58.0	39.9	36.7	47.9
対馬市	66.7	54.0	57.7	65.7	63.0	56.8	62.0	46.7	43.8	53.1
壱岐市	65.2	61.3	62.6	67.9	65.9	48.8	56.0	39.7	43.2	47.0
五島市	66.3	59.5	61.7	68.4	65.7	52.4	53.9	44.1	37.8	48.0
西海市	67.0	51.1	54.6	60.8	59.7	48.0	49.7	38.7	30.7	42.9
雲仙市	65.1	59.0	57.9	62.9	62.4	54.2	56.6	44.7	41.0	49.9
南島原市	63.6	55.5	55.7	62.5	60.5	53.5	61.2	44.4	43.6	51.1
長与町	71.2	66.7	66.1	68.1	68.7	71.2	73.1	62.1	61.0	67.5
時津町	64.0	57.2	56.2	62.7	61.1	59.1	60.0	52.4	49.3	55.9
東彼杵町	65.5	50.8	59.4	66.7	62.9	53.2	64.1	39.7	45.6	50.7
川棚町	78.2	65.1	61.9	74.6	71.5	54.3	57.4	39.5	47.4	49.9
波佐見町	67.9	57.1	61.4	65.8	64.6	50.9	64.7	42.1	38.6	49.4
小値賀町	73.8	72.5	61.0	68.3	68.6	65.6	85.0	62.5	63.8	68.7
佐々町	60.6	49.1	57.5	59.9	58.4	50.6	41.2	44.0	28.7	43.0
新上五島町	69.5	66.2	60.9	70.8	68.2	58.2	65.2	49.9	48.9	55.9
県立中(3校)	81.1	82.6	86.8	85.2	85.2	90.9	92.5	78.0	77.9	85.6

# 平成28年度 長崎県学力調査（英語）

## 結果の概要＜速報版＞

### I 調査の概要

#### 1 調査目的

本県中学生の英語の学力定着状況を把握・分析し、学習指導上の成果と課題を検証することにより、県内の各公立中学校における授業の充実・改善を図り、生徒一人一人の英語力向上を目指す。

#### 2 調査期日 平成28年4月20日（水）

#### 3 調査実施校数及び生徒数

##### （1）実施校数

178校

##### （2）実施生徒数

中学校第3学年 11,953人

#### 4 調査内容

○中学校 … 英語（50分）

## Ⅱ 結果の概要

### 1 調査問題作成の基本方針

- 中学校学習指導要領に示されている目標及び内容に基づいて出題。
- 言語についての知識・理解、表現力を総合的にみることができるよう、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の言語活動の指導事項を踏まえて出題。
- 「聞くこと・話すこと」「読むこと・書くこと」のように複数の技能を統合的に取り扱った問題も出題。
- 過去の調査から、「書くこと」の領域で重点課題と捉えている問題や他の領域における課題についても、経年比較のために継続して出題。

### 2 県全体の平均点

英 語
63.1 (昨年度は 59.9)

### 3 結果の総括

- 平均点が3.2点向上し、6割以上理解している生徒の割合は、昨年度の51.9%から56.4%へと増加している。
- 「書くこと」全体の正答率は48.4%から57.2%へ向上している。
- 「聞くこと・話すこと」は大幅な向上が見られる一方で、「読むこと」は低下している。まとまりのある英文の読み取りが課題である。
- 「読むこと・書くこと」においては、理由（根拠）を示して自分の意見を書く問題は、正答率が低下しているため、今後も引き続き課題として捉える必要がある。

#### 4 教科の状況

＜中学校英語＞ (○：改善が見られる問題 ●：継続して課題となる問題)

○まともりのある英語を聞き、内容に関する設問に日本語や数字で答えたり、適する答えを選択したりする問題

○与えられた単語を並べかえ、状況に合った英文を書く問題

●内容や状況に応じて自分の意見とその理由を含む英文を書く問題

●会話文を読み、空所に適する英文を選択する問題

## 5 平成27年度長崎県の重点課題改善状況

### <中学校英語>

	出題の趣旨	H27問題番号		重点課題	該当 学年	H28問題番号		重点課題	該当 学年	H27 県平均 正答率	H28 県平均 正答率	差	改善の 状況
		大問	小問			大問	小問						
1	与えられた単語を並べかえ、状況に合った英文を書く	9	(1)	疑問詞を用いた疑問文を作る	2年	9	(1)	疑問詞を用いた疑問文を作る	2年	52.5	75.8	23.3	○
		9	(2)	「How many」を用いた一般動詞の疑問文を作る	1年	9	(2)	「How many」を用いた一般動詞の疑問文を作る	1年	53.4	73.7	20.3	○
2	与えられた状況において、相手に伝えたり尋ねたりしたいことを英語で表す	10	(2)	There is/are ～. の構文を用いた英作文	2年	10	(3)	There is/are ～. の構文を用いた英作文	2年	45.9	50.3	4.4	-
3	与えられた英文を読み、それに関する設問に答える	11	(2)	メール等の内容や状況に応じた英文（意見とその理由）を記述する	全学年	11	(2)	メール等の内容や状況に応じた英文（意見とその理由）を記述する	全学年	52.6	47.6	-5.0	●

- 9(1)及び(2)の内容は、問答し合う場面でよく用いる表現であるが、「話す」だけでなく「書く」ことによる定着の確認も行われたものと思われる。
- 10(2)の改善状況はまだ不十分であるが、正答率は、29.8% (H25) →36.5% (H26) →45.9% (H27) →50.3% (H28) と推移しており、着実な向上が見られるので、今の改善の取組を継続することが大切である。
- 11(2)の内容は、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成という学習指導要領が求める指導の成果を検証する問題であり、引き続き重点課題である。自分の考えや意見を書くことは、他教科にも共通する課題であり、教科の枠を超えた改善の取組も必要である。

## Ⅲ 今後の取組

### 1 結果を踏まえた研修会の実施

- 出前講座等による市町や学校に出向く研修の実施
  - ・市町教育委員会、学校と課題を共有した研修会の実施
  - ・各地区の教育研究会への働きかけと研修会の実施
- 中学校・高校教科指導（英語）研修講座による英語科教員の指導力向上と中高連携の強化

### 2 課題改善に資する資料及び指導教材の提供

- 課題分析と改善方策を示した結果報告書の配付と活用
- 課題改善に有効な「長崎県学力向上『活用教材』」の作成と発信

### 3 各学校における結果検証の報告とその活用

- 「課題分析表」「取組の成果」記入による各学校の取組の強化
- 学力向上が見られた学校の取組の周知

### ※ 「ながさキッズ イングリッシュ チャレンジ事業」の推進

- ・ 「イングリッシュキャンプ」事業（中1対象）
- ・ 生徒の英語力を高める取組  
（長崎県スプリングコンテスト・長崎県中学生英語暗唱大会）
- ・ 英語指導力向上研修 地区別研修会
- ・ 外部機関と連携した英語指導力向上事業

## 中学校英語

- 11 ヒカリ (Hikari) は、昨年オーストラリアでホームステイした家庭のジュディ (Judy) から、次のような電子メールを受け取りました。これを読んであとの問いに答えなさい。

Dear Hikari,

How are you? I'm looking at a picture on my desk.

You, my brother Tom, and I are \*smiling in the picture.

I remember we enjoyed playing basketball and singing Japanese songs together. We had a lot of fun last year.

I have good \*news. We can meet again.

Tom and I are going to visit Japan next year.

We are \*planning our trip now.

I have a question.

What is the best season for a trip to Japan?

Do you have any good ideas?

I hope we will enjoy our trip to Japan.

I'm \*looking forward to your mail.

\*Sincerely yours,  
Judy

注 smile(smiling) : ほほえむ news : ニュース、知らせ plan(planning) : 計画を立てる  
look(looking) forward to ~ : ~を楽しみに待つ sincerely yours : 敬具

- (1) ヒカリがホームステイした期間中に、ジュディたちと何をしたと書いてありますか。日本語で書きなさい。
- (2) ジュディが知りたいことについて、あなたがヒカリなら、どのように返事を書きますか。下のメールの□の中に意見とその理由について書きなさい。ただし、英文は1文か2文で書くこととします。

正答率 47.6% (H27 : 52.6%)

Dear Judy,

I'm \*excited to hear the news!

I have a good idea about your question.

Please think about my idea.

If you have more questions, please ask me again.

I can't \*wait to see you!

\*Bye for now,  
Hikari

注 excited to ~ : ~してわくわくしている wait : 待つ bye for now : じゃあまた

<結果一覧>

	英 語				全体平均点
	聞くこと 話すこと	読むこと	書くこと	読むこと 書くこと	
県全体	78.7	57.7	57.2	42.0	63.1
長崎市	79.3	57.6	55.4	40.4	62.7
佐世保市	75.3	54.7	52.6	37.9	59.5
島原市	78.0	54.3	57.9	39.3	61.7
諫早市	79.0	57.1	55.1	38.5	62.2
大村市	76.9	54.8	56.4	39.5	61.2
平戸市	79.3	59.7	60.3	47.2	65.3
松浦市	74.6	53.2	52.7	39.7	59.0
対馬市	75.7	53.3	53.6	38.3	59.5
壱岐市	75.4	51.6	51.7	33.5	57.9
五島市	81.2	57.4	59.5	43.0	64.6
西海市	74.4	54.5	53.9	42.5	59.9
雲仙市	77.0	52.6	55.8	39.7	60.4
南島原市	79.1	57.0	60.6	44.9	64.2
長与町	88.9	68.1	73.2	54.8	75.1
時津町	85.6	64.0	73.7	51.3	72.4
東彼杵町	78.0	60.1	61.2	49.8	65.4
川棚町	75.0	53.5	51.3	45.7	59.5
波佐見町	75.1	59.6	54.5	43.5	62.0
小値賀町	77.1	58.3	67.9	52.9	66.4
佐々町	71.8	50.7	44.2	41.4	55.4
新上五島町	79.0	54.4	49.2	39.2	60.0

県立中(3校)	93.8	95.0	93.5	83.5	93.1
---------	------	------	------	------	------